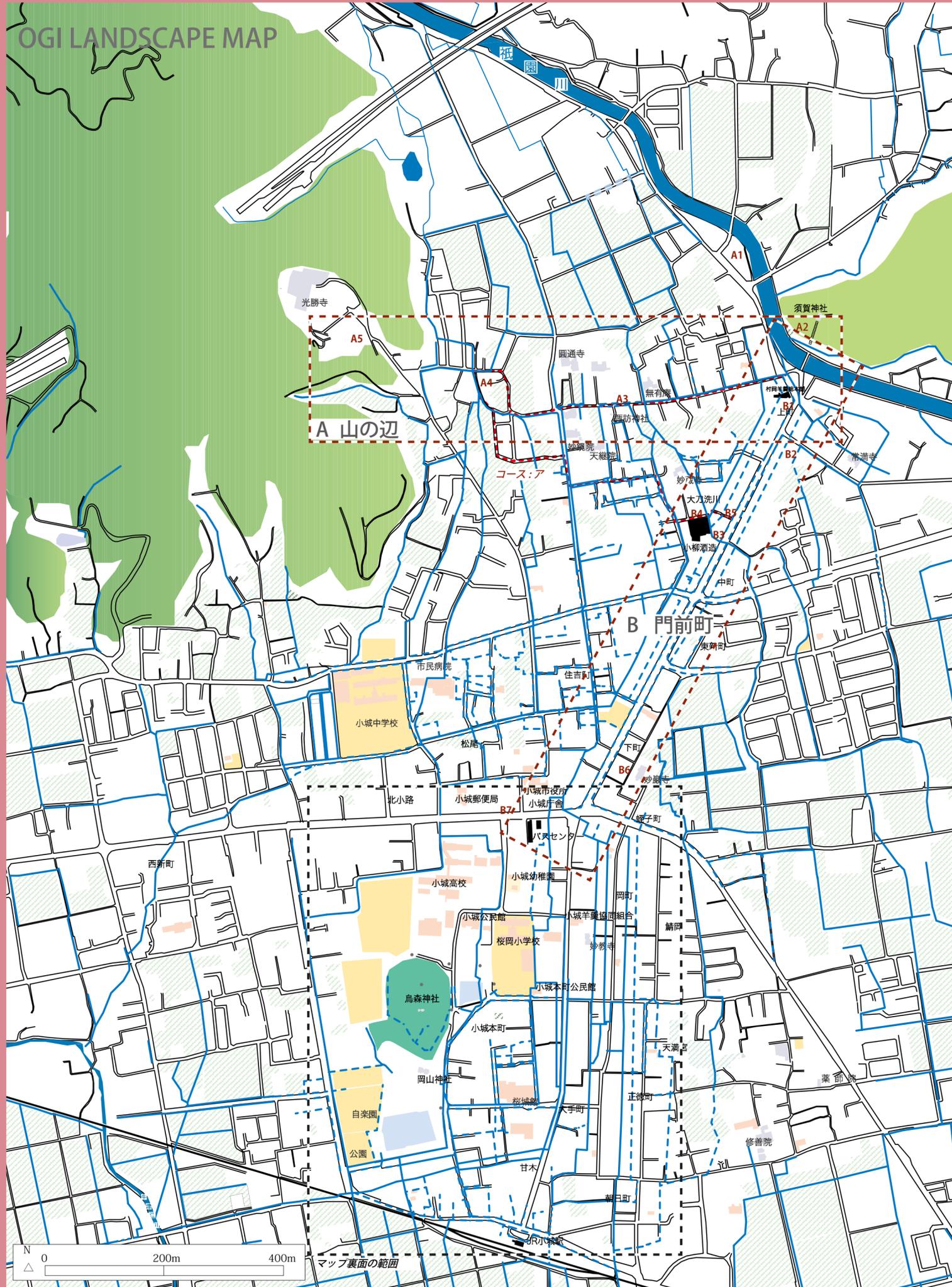


水の町 小城 まち歩き景観マップ

OGI LANDSCAPE MAP



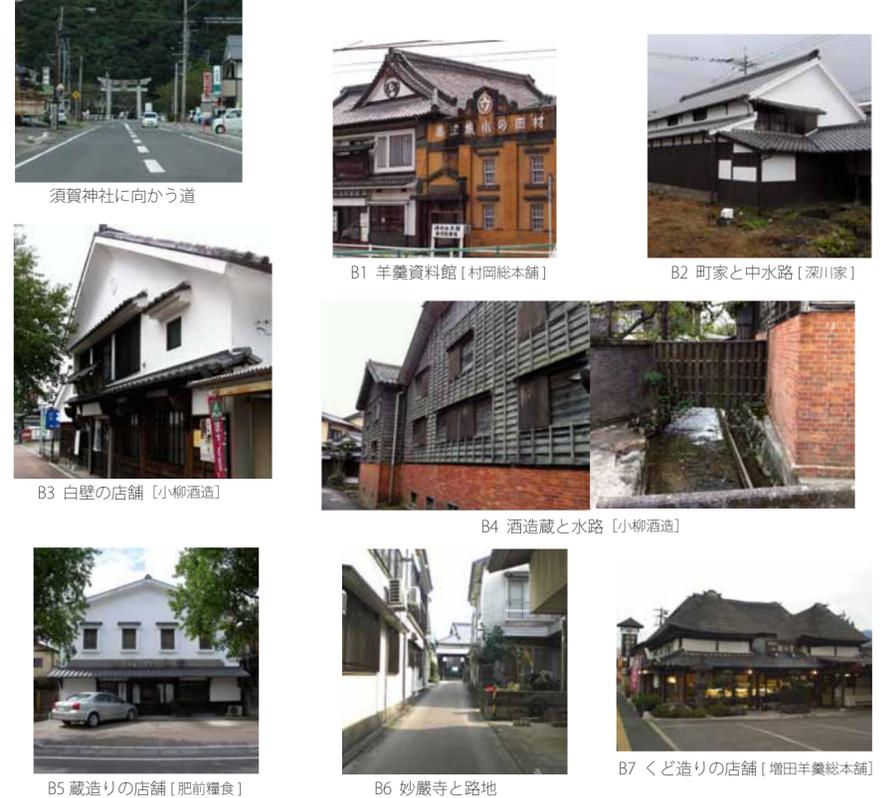
A 山の辺 祇園川・城山・横町・三間寺・松尾

天山や清水川を源流とする祇園川は、小城に張り巡らされた水路網に通じています。中世からの城山に須賀神社、松尾山に光勝寺、これら老山の辺の道がつないでいます。須賀神社の石段を上げば小城の街並み、そして有明海が望めます。



B 門前町 上町・中町・下町

須賀神社に向かう軸道の両側に、江戸初期に造営された上町・中町・下町が並びます。酒造蔵、町家や店舗があり、よく見るとそれぞれの敷地を越えて前・中・裏と三本の水路が流されています。



探してみよう町のお宝景観



観る人の経験や興味と相まって、景観が町の歴史や営みを想起させ、時空を超えた体験となることがあります。じっくりとまちを歩き、街のお宝景観を発見してみましょう。
*ここに掲載した写真は、2012年2月26日に実施した、まち歩きワークショップ「おぎ街中お宝景観探し!」において、参加者が抽出した小城らしい景観です。

○まち歩きモデルコース
このマップではA～Fのまとまりごとに小城らしい景観要素を掲載しています。複数を巡るモデルコースとして、ア：山の辺・門前町コース（マップ表）、イ：桜岡と小城藩邸跡・水辺の公園コース、ウ：小路と町・小城駅前コース（マップ裏）を表示しています。これらを参考にぜひまち歩きを堪能してください

○まち歩き景観マップについて
小城の町景観 34 選：2011年5月から1月1回程のペースで佐賀大学後藤研究室、佐賀県建築士会、小城市の有志がまち歩きと勉強会を重ねてきました。中心市街地を主対象として小城らしい景観要素を撮り集め、100点以上の写真をもとに投票、追加・削除の議論を経て、結果として町景観 34 点を選出しました（A1～F6）。選ばれた各要素は「山・柱」「水・水路」「街割り・町並み」「素材・意匠」「営み」の視点のいずれか又は複数の視点から評価できます。景観要素・場所性・水の町：景観要素を地図上にプロットすると、そのまとまりが街の歴史と関わる界限や場（マップA～E）と関わるのが分かります。個々の要素は先述の視点から評価できるとともに、一定の「場所性」を兼ね備え、そのことが小城らしさに通じるといえるでしょう。さらに、小城全体を基底する水網に着目し、タイトルに「水の町」を付しています。

創る視点・つかう視点からの景観まちづくり：建築や景観まちづくりでは、未来を「創る」視点とともに生活者の「つかう」視点が重要です。このマップが、多くの方々のまち歩きのきっかけとなり、小城の景観についての過去と現在に対する認識、さらには将来に向けた取り組みに通じればと願っています。

水の町 小城 まち歩き景観マップ
発行 2012年3月
編者 後藤隆太郎
図版作業 都合達太郎・江藤拓也・清水壮馬・緒方翔
制作協力 佐賀県建築士会まちづくり地域貢献活動推進委員会、小城市建設部中心市街地活性化推進室
連絡先 〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学大学院工学系研究科都市工学専攻後藤研究室

※本ガイドは、「中心市街地景観形成ガイドライン作成に関する調査研究」（小城市から佐賀大学後藤研究室に委託された調査研究業務）の成果の一部として印刷しています。